学校だより

スマイル

勝浦市立勝浦小学校

№17　令和３年２月５日

学校教育目標
郷土を愛し、健康で確かな学力と豊かな心を身につけた、たくましい児童の育成

１年間の学習のまとめをしっかりと！

今年は実に１２４年ぶりに２月３日が立春となりました。４日には観測史上最も早い春一番が吹き、春の到来を告げました。まだまだ寒い日が続くとは思いますが、確実に春はもうすぐそこまでやってきています。

さて、学校では、２月に入り月末に控えた県標準学力検査に向けて、１年間の学習のまとめに取り組んでいるところです。それぞれの学年の学習がしっかりと定着しているかどうか、家庭学習の際に声をかけていただけると助かります。

緊急事態宣言が更に１ヶ月延長となってしまいしました。宣言下では、行事を行うのが非常に難しい状況となります。３月に卒業を控えた６年生を含めて、子どもたちにはまだまだ我慢を強いられる状況が続きますが、コロナ感染症に気を付けながらも学校生活を充実したものにできるよう努力していきたいと思います。２月もよろしくお願いします。

全学年で「食と健康教室」を実施しました！



１５日（金）に２年生を対象に、「お腹の中の様子を知り、健康なお腹を作ろう」のテーマで、梶栄養教諭から指導していただきました。

子どもたちは、腸内細菌である善玉菌と悪玉菌のそれぞれの働きを知り、「発酵食品や食物繊維を多く含む食品をできるだけ食べるように心がけていきたい」という思いを強く持ちました。



１９日（火）には、４年生で実施しました。４年生では、郷土の食材である「ひじき」の加工過程や給食センターの様子について説明していただきました。また、食事のマナーに関連させて、お箸の持ち方をもう一度確認しました。子どもたちは、給食が自分たちへ提供されるまでに、多くの人たちが携わり、苦労していることを知りました。

「食」は、私たちが生きていくうえで欠かせないものです。今年は、保護者の参加が望めない形での実施でしたが、今後も食育を通して、子どもたちに「食」の大切さを伝えていきたいと考えています。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

会話のポイント

コロナ感染症の国内発症から、早１年になります。子どもたちは、元気に学校生活を送っていますが、何らかのストレスを感じているかもしれません。

そこで、親子の会話の中にカウンセリングの技法を用いて、子どもたちの心を解きほぐしてみてはどうでしょうか？　以下、その技法のいくつかを紹介します。

①傾聴：丁寧かつ積極的に子どもの話に耳を傾けます。よくうなずきながら聞きます。
②受容：批判したくなってもぐっとこらえ、子どもの気持ちを推し量りながら聞きます。
③繰り返し：子どもの言葉と同じ言葉を繰り返します。
④感情の伝え返し：子どもの感情表現と同じ言葉を繰り返します。　などです。



こんなことを意識して会話をすると、意外と本音が聞けるかもしれませんね！

自転車の安全利用について

千葉県では、平成 29 年に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定され

①　乗用車用ヘルメットの着用　　②　自転車損害賠償保険等への加入
以上の2点が、保護者の努力義務となっています。

お子様が自転車を利用する際は、ご検討ください。

